

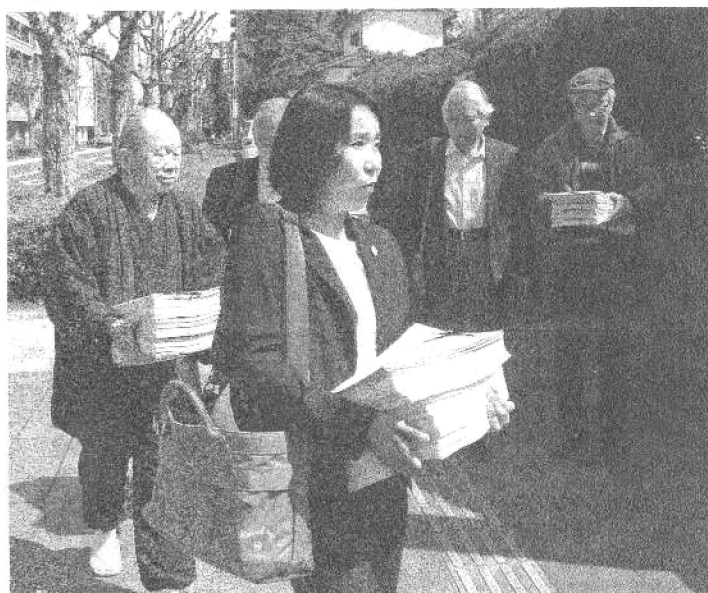
# 伊方原発をとめる 大分裁判の会ニュース

第4号 2017年4月17日発行  
発行：伊方原発をとめる大分裁判の会  
〒870-0802 大分市田の浦12組

TEL097-529-5030 fax097-532-3772  
郵便振替01710-7-167636  
E-mail: nonukes@able.ocn.ne.jp  
<http://ikata-sashitome.e-bungo.jp/>

## 5月11日第4回口頭弁論に結集しよう

3月16日午後1時、「公正な裁判」をもとめる署名  
45760筆を持って大分地裁へ



### 5月11日（木）の日程

13:30 大分地裁玄関集合

13:40～50 抽選

14:30 第4回口頭弁論

15:00～第7回審尋（非公開）

15:30～報告会・記者会見（予定）

（18:00～映画 「日本と再生」 試写会  
詳細は最後のページを参照のこと）

第4回口頭弁論の出廷または傍聴を希望する人は同封の用紙にて申し込んでください。（4月25日必着）切手代52円は各自負担をお願いします。

## 第2次原告100名以上を目標に募集中です

### 第2、3回と満席、熱気に満ちた口頭弁論

第2回口頭弁論は1月26日寒い日にもかかわらず、12時50分ころには裁判所入口に人だかりができていました。今回もまた抽選をする事態となり、入廷出来ない人たちは申し訳ありませんでした。満席の1号大法廷は、原告団、応援団の「伊方原発を何としても止めよう！」との強い意志表示の場となりました。中山田さつきさんが杵築の椎茸農業生産者の生活を守る立場から、脱原発社会を切り開いて欲しいと裁判官に訴えました。

この日は裁判終了後の夜、弁護団との新年会

が和やかに持たれ、原告・応援団と交流できました。

第3回口頭弁論は3月16日に宇都宮陽子さん（応援団代表）の意見陳述が行われ、子どもを持つ母としての立場から伊方原発稼働を断じて許せない思いを訴えました。（陳述書を次ページに掲載）

現在 264名の原告団で裁判を進めています。さらに運動として拡げていきたいという思いで、第2次原告団を100名以上を目標に（現在 85名の方が意思表示）募集しています。是非ご協力をお願いします。